

◆研究概要等

ハングルが創製された15世紀の文献を対象として、その文法の研究を行ってきました。現代語に見られる変則活用などの文法現象や特殊な単語の形などは、韓国語の歴史を知ることによって説明が可能です。完全な形で分かる最古の姿として、15世紀のハングル文献があり、その資料を基にして研究を進めています。現在は韓国語教育の観点からの文法研究やウェブ教材の開発、また形態素解析と呼ばれるコンピュータでの処理を目的とした、解析用の辞書開発なども行っています。また、文法研究の延長として教材も執筆しています。

教養・基礎教育部門

准教授

すがいよしのり

須賀井義教

okikirmui@gmail.com



<http://researchmap.jp/read0146431>

<http://porocise.sakura.ne.jp/wiki/>

<https://osdn.jp/projects/handic/>

■研究テーマ等

①現代韓国語形態素解析用辞書HanDicの開発

機械翻訳やウェブ検索などの前処理として形態素解析が行われますが、現代韓国語を解析するための辞書 HanDic (ハンディク) を開発し、公開しています。現在は約 11 万項目が収録されており、オープンソースの形態素解析エンジンである MeCab (めかぶ) と共に利用することができます。現在も項目を増やす作業を進めています。

HanDic はテキストマイニングのためのオープンソースソフトウェアである KH Coder にも同梱されており、現代韓国語の計量テキスト分析を行うことが可能になっています。



←HanDic と R を用いて金泳三大統領の演説を分析し、ワードクラウドを作成

②15 世紀朝鮮語の形態素解析用辞書の開発

HanDic の成果を利用して、15 世紀の言語を分析するための形態素解析用辞書を開発しています。こちらもやはり MeCab での利用を前提としており、現在作業を進めている段階で、公開は行っていません。現在は 5,000 項目ほどですが、今後辞書開発を進め、形態素解析を行ったデータを蓄積することで、15 世紀の朝鮮語を計量的に分析することが可能になると考えます。



←15 世紀の代表的なハングル文献『積譜詳節』巻六 (1446 年刊) の一部。現在では使われていないハングル (ㄱやㅈ) などが用いられている

### ③韓国語教材の開発

研究テーマというわけではありませんが、文法研究の成果として、教科書など教材の執筆や、スマートフォンで利用できるウェブ教材などを開発

しています。ウェブ教材はインターネットで公開しており、いつでも誰でも利用することができます。正しい綴りをポチポチと選んだり、単語のクイズなどを行えます。

### ●論文・作品・表彰・特許等

1. 須賀井義教(2016)『韓国語文法ドリル 初級から中級への1000題』, 東京: 白水社.
2. 스가이 요시노리(2013), '자동 형태소 분석 기술을 이용한 한국어 읽기 보조 도구의 개발', "한국어 교육", 제24권 3호, 서울: 국제한국어교육학회, pp.139-159.
3. 須賀井義教(2013)「MeCab (めかぶ) を用いた現代韓国語の形態素解析」, 『朝鮮語研究』5, 朝鮮語研究会編, 東京: ひつじ書房, pp.282-312.
4. 須賀井義教(2012)「モダリティとムードをめぐる」, 『韓国語教育論講座』第2巻, 野間秀樹編著, 東京: くろしお出版, pp.317-352.
5. 2002年3月26日: 修士 (言語学, 東京外国語大学)

### ▲趣味等

趣味と呼べるほどのことはほとんどありませんが、挙げるとすれば音楽鑑賞です。1970年代のプログレッシブ・ロックと、そこから派生したグループやプロジェクトのアルバムを主に聴いています。K-Popはほとんど聴きませんが、「サントラの女王」「リメイクの女王」と呼ばれるソ・ヨンウン (서영은) さんの歌声が好きで、入手可能なアルバムはほとんど持っています。韓国ロックも多少聴きます。また、韓国の国楽 (日本での雅楽に当たる) にも興味があり、留学中に外国人向け、韓国人向けの講座で「短簫 (단소)」という笛を習っていました。

↓竹で作られた短簫。下のものは5000円くらいします



정간보 (井間譜) という国楽の楽譜。

漢字で書かれた音階と補助符号が  
マス目に記入されています→

南	漢	林	淋
-L	-L	-L	-L
林	南	淋	沖
汰	南	浦	沖
-	林	淋	漢
-L	南	汰	汰
漢	汰	漢	淋
-L	-L	-L	汰
南	沖	浦	汰
南	漢	漢	浦